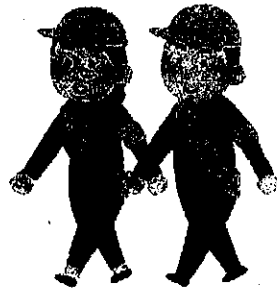


○ 小学生の部 最優秀作品



わたしの町の防はんパトロール

須賀川市立第一小学校3年 後藤 優衣

わたしの町では、防はんパトロールを、毎週土曜日に行っています。町内の組長さん、やくいんさん、いくせいかいの方が協力してこうたいで行っています。わたしのお父さんは、やくいんさんで、お母さんは、いくせいかいをやっているのので当番が回ってきます。お父さんかお母さんが当番の時はわたしもいっしょにさん加しています。どうゆうことをするかというと、当番の人と町中を決まった地図のとおり、歩いていきます。

「どんなことをチェックしているの？」

と、お父さんに聞いたら、

「あやしい人、あやしい車、きけんな場所、いつもとちがうことがないかを見ているんだよ」

と教えてくれました。

わたしもさん加してみても、まいごにならないかと、ふあんになってしまったけど、お父さんがまいごにならないように、手をつないでくれました。なので、安心しました。

気がついたことが、一つあります。なにかというと、この町はあやしい人、あやしい車がないということです。わたしはあやしい人がいなくてよかったな、と思いました。防はんパトロールのいいところは、この町のみんなのためになる所です。なぜかとい

うと、あやしい人や、車は、事こや、じけんのげんいんになって  
しまうからです。なので、毎週のパトロールのおかげで安心して  
住むことのできる町になっているんだと思いました。防はんパト  
ロールっていいなと思い、この町に生まれてよかったなと思いま  
した。

さいしょは大人の人たちについていだけだったけれど、これ  
からは自分の目できけんがないか、パトロールできるようになり  
たいと思います。これからもがんばります。

